



## 観光からはじめられること

久万高原町地域おこし協力隊

笠居 由実



### 地域おこし協力隊になるまで

「久万高原町で、観光の仕事を募集してみたいだよ。」と知人から紹介してもらったことがきっかけで、久万高原町の地域おこし協力隊となりました。

それまでは、松山市三津浜地区で地域活性化の仕事に携わっていました。空き家バンクや移住者誘致、サブリース事業や観光案内。ほかにも色々ありました。が、ざっくりと言えばそんな感じです。

そこで数年勤務していたのですが、実家がある香川県に戻ることになり、退職しました。地元に戻ったことを機に、漠然と香川県で仕事を探していたところ、前述したように紹介をしてもらい、昨年の10月に愛媛県へ戻り、地域おこし協力隊として久万高原町へ赴任してきました。協力隊と言えば、都会から遠い田舎へ移住するというイメージがありますが、私の場合は松山に10年以上住んでお

り、久万高原町へもよく遊びに行っていたこともあり、遠いというよりも身近な感じがしていたので、すんなりはこちらへ来ることができました。

### 着任したものの…

久万高原町でこれややっていくんだ！という確固たる思いが特になく、観光つて楽しそう！という気持ちでやってきた私は、着任早々壁にぶち当たります。

ミッションは、「町内を観光で盛り上げてね」というもの。一体どう動いたらいいのか：地元の人に聞いても「好きにやればいいよ。」で終わってしまい、何をどうしたらいいのかさっぱり分からない状態でした。それと、やはり土地によって人の性格やコミュニケーションの取り方も違うので、今まで住んでいたところと同じように接しても同じようにはいかず、その点も苦労しました。

それからは、まずは地域を知ることが大事だと考え、1年間は地域の様子

を見てみることにしました。色んなところに顔を出し、様々な手伝いをしました。頼まれたことはほぼ全て引き受けるようにし、イベントの手伝いや参加、祭りの準備や司会、イベントのCM告知など、地道なものや表に出るものなど様々でした。地域のお祭りの一環としてお化け屋敷があるのですが、そこでお化け役をさせてもらったのは面白かったです。



地域で行われるイベントに出店

### これまでの活動について

そうやって日々活動していると、色々な人と知り合いコミュニケーションを取